

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社メガチップス 上場取引所 東
 コード番号 6875 URL <https://www.megachips.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥川 哲士
 問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 三宅 正久 (TEL) (06) 6399-2884
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	34,282	△40.0	30	△94.8	△268	—	△859	—
2019年3月期第2四半期	57,122	27.7	583	△62.5	615	△57.4	△283	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1,140百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △743百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△39.49	—
2019年3月期第2四半期	△13.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	91,305	24,713	27.1	1,135.56
2019年3月期	91,977	26,223	28.5	1,204.98

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 24,713百万円 2019年3月期 26,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	17.00	17.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、利益配分に関する基本方針に基づき期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。配当金額については、中期的な経営状況の見通しを考慮の上、親会社株主に帰属する当期純利益の30%以上に相当する額を配当金総額として決定しております。現在、2020年3月期の配当予想額は未定のため、期末配当金の予想を「—」と表記しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	65,000	△31.7	1,200	109.2	800	59.2	200	—	9.19	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	23,038,400株	2019年3月期	23,038,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,275,372株	2019年3月期	1,275,372株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	21,763,028株	2019年3月期2Q	21,747,660株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における電子機器業界においては、産業用電子機器、民生用電子機器及び電子部品・デバイスの需要が減少し、電子機器業界全体の市場は前年同四半期比減という状況で推移いたしました。

ASIC事業においては、これまでの主力分野であるゲーム機器、デジタルカメラ、事務機器分野に加え、産業機器分野における国内外の有力顧客に向け、顧客の機器・サービスのアプリケーションに最適なソリューションを提供しております。その競争力は、顧客のアプリケーションに関する深い理解と独自のコア技術を基に、アルゴリズム・アーキテクチャの開発から性能・コスト競争力に優れたシステムLSIの開発・供給を、上流の論理設計から下流の物理設計、製造オペレーション、品質保証に至るまで一貫したサポート体制で提供できることにあります。

ASSP事業においては、急速な情報通信技術の革新が進展する中で更なる成長を図るため、今後の成長が見込める車載・産業機器・通信インフラ分野へ経営資源を集中しております。アナログ回路の開発・設計技術の競争力強化と、国内・海外企業との戦略的な協業に取り組み、差別化できる付加価値の高いソリューションを開発・提供することで、将来の収益の重要な柱となる新たな事業の育成を図っております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前第4四半期に実施したシステム事業部門の譲渡に伴う売上減少分があったことに加え、顧客専用LSI分野及びSmart Connectivity LSIの需要がそれぞれ減少したことにより、売上高は342億8千2百万円（前年同四半期比40.0%減）となりました。また、過年度の企業買収によるのれん及び無形固定資産の償却費が12億5千万円発生したこと、将来に向けた開発投資により研究開発費が36億3千7百万円（前年同四半期比4.2%減）発生したこと等により、のれん等償却前の営業利益は12億8千1百万円、のれん等償却後の営業利益は3千万円（同94.8%減）となり、経常損失は2億6千8百万円（前年同四半期は6億1千5百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8億5千9百万円（前年同四半期は2億8千3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループは単一の事業セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は913億5百万円（前連結会計年度末比6億7千1百万円の減少）となりました。主要な項目を前連結会計年度末と比較すると、受取手形及び売掛金が51億6千万円増加した一方で、商品及び製品が15億8千万円、のれんが11億7千8百万円、流動資産のその他が27億3百万円それぞれ減少しております。

負債合計は665億9千2百万円（同8億3千8百万円の増加）となりました。主要な項目を前連結会計年度末と比較すると、支払手形及び買掛金が71億4千6百万円、短期借入金が5億4千8百万円、1年内返済予定の長期借入金が5億円それぞれ増加した一方で、長期借入金が70億円減少しております。

純資産は247億1千3百万円（同15億1千万円の減少）となりました。この結果、自己資本比率は27.1%（同1.4ポイントの下降）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、111億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億3千1百万円の増加（前年同四半期は54億9千5百万円の減少）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、86億7千7百万円の資金の獲得（前年同四半期は116億6千9百万円の資金の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が3億7千8百万円となり、売上債権が51億9百万円の増加となった一方で、減価償却費が17億3千7百万円、のれん償却額が8億7千1百万円それぞれ発生したこと、たな卸資産が21億円の減少、仕入債務が72億3百万円の増加、その他の資産が29億円の減少となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、12億3千万円の資金の使用（前年同四半期は24億1千5百万円の資金の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が4億8千1百万円、無形固定資産の取得による支出が2億6千8百万円、長期前払費用の取得による支出が2億6千7百万円あったことによるものであります。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは、74億4千6百万円の資金の獲得（前年同四半期は140億8千4百万円の資金の使用）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、63億5百万円の資金の使用（前年同四半期は86億1千6百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、短期借入金が7億1千5百万円の純増となり、長期借入による収入が10億円あった一方で、長期借入金の返済による支出が75億円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月1日に公表いたしました「2020年3月期第1四半期決算短信[日本基準](連結)」に記載の、2020年3月期の連結業績予想値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,218,297	11,148,520
受取手形及び売掛金	39,735,519	44,895,815
商品及び製品	4,314,680	2,733,780
仕掛品	2,393,464	2,016,674
原材料及び貯蔵品	900,422	587,721
その他	3,463,809	759,928
貸倒引当金	△21,170	△15,894
流動資産合計	61,005,023	62,126,547
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,745,941	4,724,376
減価償却累計額	△3,256,468	△3,318,406
建物(純額)	1,489,473	1,405,969
その他	10,683,825	10,912,649
減価償却累計額	△7,732,115	△8,006,902
その他(純額)	2,951,709	2,905,747
有形固定資産合計	4,441,183	4,311,716
無形固定資産		
のれん	10,666,216	9,487,362
技術資産	3,306,742	2,834,107
その他	5,385,645	4,711,220
無形固定資産合計	19,358,604	17,032,690
投資その他の資産		
投資有価証券	2,062,231	2,367,376
長期前払費用	2,509,929	2,102,206
繰延税金資産	1,397,463	1,377,452
その他	1,203,320	1,987,781
投資その他の資産合計	7,172,944	7,834,815
固定資産合計	30,972,732	29,179,222
資産合計	91,977,755	91,305,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,408,966	13,555,466
短期借入金	20,327,405	20,875,930
1年内返済予定の長期借入金	9,500,000	10,000,000
未払法人税等	429,750	647,253
賞与引当金	405,442	425,445
工事損失引当金	148,574	92,490
その他の引当金	—	7,500
その他	3,462,968	2,715,259
流動負債合計	40,683,108	48,319,345
固定負債		
長期借入金	23,000,000	16,000,000
繰延税金負債	890,822	765,208
その他	1,179,871	1,508,080
固定負債合計	25,070,694	18,273,289
負債合計	65,753,802	66,592,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,840,313	4,840,313
資本剰余金	6,183,846	6,183,846
利益剰余金	16,058,261	14,828,975
自己株式	△1,608,924	△1,608,924
株主資本合計	25,473,496	24,244,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,041,475	1,368,928
為替換算調整勘定	△291,018	△900,002
その他の包括利益累計額合計	750,456	468,926
純資産合計	26,223,953	24,713,136
負債純資産合計	91,977,755	91,305,770

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	57,122,588	34,282,539
売上原価	46,922,582	25,883,429
売上総利益	10,200,005	8,399,109
販売費及び一般管理費	9,616,305	8,368,529
営業利益	583,699	30,580
営業外収益		
受取利息	5,843	7,014
投資事業組合運用益	936	1,040
未払配当金除斥益	1,884	1,922
為替差益	268,902	—
雑収入	4,552	758
営業外収益合計	282,119	10,736
営業外費用		
支払利息	234,922	267,889
為替差損	—	18,152
雑損失	15,832	23,419
営業外費用合計	250,755	309,461
経常利益又は経常損失(△)	615,063	△268,144
特別損失		
固定資産除却損	161,630	—
特別退職金	—	110,137
特別損失合計	161,630	110,137
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	453,433	△378,281
法人税等	736,442	481,033
四半期純損失(△)	△283,008	△859,314
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△283,008	△859,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△206,191	327,453
為替換算調整勘定	△254,109	△608,983
その他の包括利益合計	△460,300	△281,530
四半期包括利益	△743,309	△1,140,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△743,309	△1,140,845

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	453,433	△378,281
減価償却費	1,518,632	1,737,342
のれん償却額	896,147	871,603
長期前払費用償却額	334,483	401,112
賞与引当金の増減額(△は減少)	△56,593	20,922
工事損失引当金の増減額(△は減少)	13,418	△56,084
受取利息及び受取配当金	△5,843	△7,014
支払利息	234,922	267,889
特別退職金	—	110,137
売上債権の増減額(△は増加)	△25,956,773	△5,109,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	568,462	2,100,833
仕入債務の増減額(△は減少)	10,301,972	7,203,784
その他の資産の増減額(△は増加)	364,050	2,900,640
その他の負債の増減額(△は減少)	74,794	△555,622
その他	152,267	61,604
小計	△11,106,624	9,568,996
利息及び配当金の受取額	5,861	7,031
利息の支払額	△225,847	△247,796
特別退職金の支払額	—	△300,701
法人税等の還付額	38,564	8,060
法人税等の支払額	△381,012	△357,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,669,058	8,677,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	208,339	—
定期預金の預入による支出	△308,110	—
有形固定資産の取得による支出	△602,481	△481,737
無形固定資産の取得による支出	△673,357	△268,602
投資有価証券の取得による支出	△546,750	—
長期前払費用の取得による支出	△176,251	△267,287
その他	△317,022	△213,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,415,634	△1,230,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△646,765	715,720
長期借入れによる収入	11,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,000,000	△7,500,000
配当金の支払額	△736,591	△369,310
その他	38	△152,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,616,682	△6,305,960
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,014	△209,591
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,495,025	931,424
現金及び現金同等物の期首残高	19,449,135	10,182,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,954,110	11,113,737

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

米国会計基準を採用している在外子会社のSiTime Corporationにおいて、第1四半期連結会計期間より米国会計基準ASU第2016-02号「リース」を早期適用し、原則としてすべてのリースを貸借対照表に計上しております。本会計基準の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の投資その他の資産の「その他」が770,679千円増加し、固定負債の「その他」が757,931千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の連結損益及びキャッシュ・フローに与える影響並びに利益剰余金の当期首残高に与える累積的影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。